

文化



コンビニの成人向け雑誌売り場。こうした表現物の流通も制限される動きがある

やっぱ、ではある。自民党が2月8日に青少年健全育成推進調査会(会長・中曽根弘文、会長代理・下村博文ほか、幹事長・義家弘介)を開催し、青少年健全育成基本法案や家庭教育支援法案の案文を提示、今国会の成立を目指す旨が同日20日の自民党機関誌「自民民主」に掲載されたから

メディア時評 (5月) 山田健太

青少年健全育成基本法 表現の自由の対抗的利益としては大きく、国家・社会・個人があるが、その社

「子の保護」隠れみのに 表現規制、強化狙う

1950年代から「エロ・グロ不良出版物」への対策を急むいわゆる青少年条例が各地で始まり、70年代後半から自動販売機による「有害」図書類の販売を制限する目的で条例の整備が進んだ。その結果、80年代には長野を除く46都道府県で同種の条例が制定され、今日に至っている。

来の子もたちが決して味わねことのない「真に生きる知恵」を持ち、市井の生活書として子どもたちに読みたいと子どもたちが、今こそ伝えたい戦争子どもの本の作家たち19人の「真実」(講談社)で述べて

有害」図書 としていわれる「有害」図書規制もまた、いま多くの国で行われている一般的な表現規制ルールとなっている。日本でも、古は

1950年代から「エロ・グロ不良出版物」への対策を急むいわゆる青少年条例が各地で始まり、70年代後半から自動販売機による「有害」図書類の販売を制限する目的で条例の整備が進んだ。その結果、80年代には長野を除く46都道府県で同種の条例が制定され、今日に至っている。

たけなわ・まゆみ 年神壇市生まれ。第1回文部省賞、第1回文部省賞、第1回文部省賞

表現規制への憂慮 現在、自民党が主導している青少年健全育成基本法案はいわゆる理直法で、具体的な規制が盛り込まれているものではない。国・地方自治体それぞれに対し、責務を定めるのみである。

大宅賞に 森功さん 読書賞武英利さん 第34回大幸治賞 錦見映理子さん 「トルガール」

新刊紹介 日英の教育 又村しづ子

腐臭 私の喉を締め上げ私を押し潰されていく私... 腐臭を築る壊垣と... 交歓のまは、私と... 喉から下が腐り落ち... その人は私に吹き... 直ちに私と共に絶... 生き延びたのは、腐... 意だけだった